



IVR-24VoIP III、IVR-100VoIP III

バージョンアップのしかた

本資料は、IVR-24VoIP III、IVR-100VoIP III のファームウェアをバージョンアップするための手順について説明します。

※以降、IVR-24VoIP III、IVR-100VoIP III を「IVR-VoIP III」「装置」または「本体」と称します。

(ご注意)

- ・バージョンアップ作業中は、電話の発着信ができません。
- ・通話待機中に、バージョンアップを実施してください。
通話中にバージョンアップを実行すると、通話が切断されます。
- ・バージョンアップによる装置の再起動後、下位端末の再起動が必要な場合があります。
※バージョンアップにより、設定、通話録音、用件録音されたデータが消えることはありません。

■準備

バージョンアップを行うために以下の物品が必要です。

物品	備考
IVR-24VoIP III/IVR-100VoIP III	バージョンアップ対象の本体。
IVR-24VoIP III/IVR-100VoIP III の IP アドレス	WEB ブラウザからの接続に使用します。
「ユーザーID」、「パスワード」	WEB ブラウザでのログインに使用します。 ※作業には、管理者権限、または工事者権限のユーザーID が必要です。
作業用 PC (WEB ブラウザ接続用 PC)	IP アドレスのネットワークアドレス部を、装置と合わせておきます。 OS は、Windows 11 / 10 のものを用意します。 WEB ブラウザは、「Microsoft Edge」または「Google Chrome」を使用します。 ※Microsoft Edge は、Chromium 版にのみ対応しています。
LAN ケーブル	持ち込んだ作業用 PC を、装置と LAN 接続する際に使用します。
ファームウェア バージョンアップ用データ ファイル名： NX-IVR-3.2-xx_firmware.zip ※ 3.2-xx：バージョン番号	当社より提供したもの。 作業用 PC の任意の場所に保存しておきます。 ※圧縮を解凍する必要はありません。

■バージョンアップ作業の流れ

次のステップに沿って、バージョンアップを実施します。

- ステップ1. 作業用 PC から装置にログインします (2 ページ)
- ステップ2. バージョンを確認します (2 ページ)
- ステップ3. バージョンアップを実施します (2 ページ)
- ステップ4. 装置を再起動します (3 ページ)
- ステップ5. バージョンを確認します (4 ページ)
- ステップ6. 契約者番号、追加番号、Terminal 接続情報が正しく取得できているか確認します (4 ページ)
- ステップ7. 動作を確認します (5 ページ)

■バージョンアップ作業

例) バージョン番号「3.2-24」にバージョンアップする場合

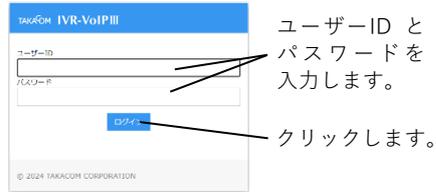
1. 作業用PCから装置にログインします

- ① 作業用PCと装置を、LANで接続します。
- ② WEBブラウザを起動します。
- ③ WEBブラウザのURL入力欄に、装置のIPアドレスを入力して、[Enter]キーを押します。
 - ・【ログイン】画面が表示されます。
- ④ ユーザーIDとパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
 - ・【メニュー】画面が表示されます。

例：WEBブラウザ【Google Chrome】



【ログイン】画面



【メニュー】画面



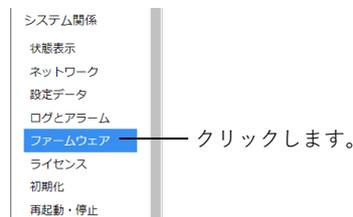
2. バージョンを確認します

- ① 表示されている、現在の「システムバージョン」を確認します。
(バージョンアップ対象)
システムバージョンが、バージョンアップ用データのバージョン番号より前の場合。
例) 「3.2-24」にバージョンアップする場合、「3.2-23」以前がバージョンアップ対象となります。

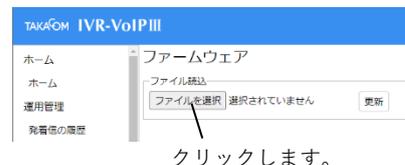


3. バージョンアップを実施します

- ① メニュー画面の管理メニューから、「システム関係ファームウェア」をクリックします。
 - ・【ファームウェア】画面が表示されます。
- ② [ファイルを選択]ボタンをクリックします。
 - ・【開く】画面が表示されます。



【ファームウェア】画面



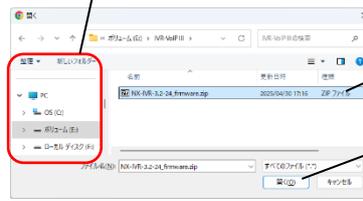
- ③ バージョンアップ用ファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックします。

例) バージョン番号「3.2-24」の場合

ファイル名：NX-IVR-3.2-24_firmware.zip

- ・【バージョンアップ】画面が表示されます。

ファイルの保存場所を指定します。



ファイルを選択
します。

クリックします。

- ④ [更新]ボタンをクリックします。

- ・確認画面が表示されます。



クリック
します。

- ⑤ “更新後バージョン”が選択したファイル名のバージョンであることを確認したうえで、[OK]ボタンをクリックします。

- ・バージョンアップが開始されます。

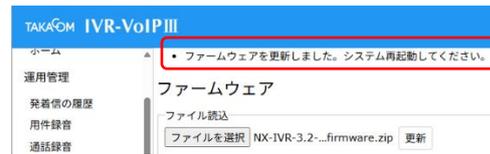


バージョン番号を
確認します。

クリックします。

- ・バージョンアップが完了すると、【バージョンアップ】画面上に、「・ファームウェアを更新しました。システム再起動してください。」とメッセージが表示されます。

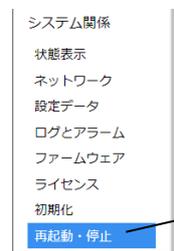
※メッセージの表示までに5分程度時間がかかります。



4. 装置を再起動します

- ① メニュー画面の管理メニューから、「システム関係一再起動・停止」をクリックします。

- ・【再起動・停止】画面が表示されます。



クリックします。

- ② システム操作として「再起動」を選択し、[実行] ボタンをクリックします。

- ・確認画面が表示されます。

※すべての通話が切断されますので、通話待機中に操作してください。

【再起動・停止】画面



クリックします。

「再起動」を選択します。

- ③ [OK]ボタンをクリックします。

- ・装置が再起動されます。

約3分後に、【ログイン】画面が表示されます。



クリック
します。

5. バージョンを確認します

- ① 【ログイン】画面で、ユーザーIDとパスワードを入力し、【ログイン】ボタンをクリックします。
 - ・【メニュー】画面が表示されます。

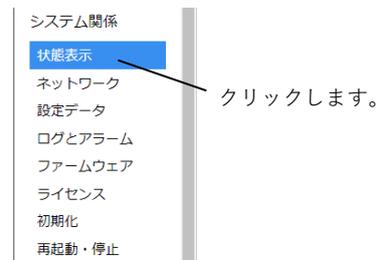


- ② 「システムバージョン」の表示が更新されていることを確認します。
 ※バージョン番号が更新されていない場合は、接続している装置を確認した上で、再度「3. バージョンアップを実施します」の内容を行ってください。

ホーム	
システムバージョン	IVR-VoIP III 3.2-24
システムID	0060e09a36cf
チャネルライセンス数	1
通話録音ライセンス	あり
発信規制ライセンス	あり

6. 契約者番号、追加番号、Terminal 接続情報が正しく取得できているか確認します

- ① メニュー画面の管理メニューから、「システム関係一状態表示」をクリックします。
 - ・【システムの状態表示】画面が表示されます。



- ② 「LINE接続状況」の契約電話番号、追加電話番号が正しく表示されているか確認します。
 - ・正しく表示されていない場合は、装置を再起動します。再起動方法は、「ステップ4. 装置を再起動します」(3ページ)を参照願います。

ネットワーク状態	
LINE リンク状態	リンクアップ
LINE リンク速度	1000Mb/s Full
TERMINAL リンク状態	リンクアップ
TERMINAL リンク速度	1000Mb/s Full
LAN リンク状態	リンクアップ
LAN リンク速度	100Mb/s Full

LINE接続状況	
LINE レジスター状態	
LINE MACアドレス	00:60:e0:6e:27:f9
LINE IPアドレス	111.80.102.2
LINE GWアドレス	111.80.102.1
LINE SIPサーバアドレス	111.80.200.2
契約電話番号	0388882001
追加電話番号	0388882002 0388882003 0388882004 0388882005

Terminal接続状況	
Terminal接続情報	sip:a1cb9a31e11@111.80.100.102:5060

- ③ 「Terminal接続状況」のTerminal接続情報が正しく表示されていることを確認します。
 - ・正しく表示されていない場合は、下位端末装置(OG/VG/構内交換機等)を再起動します。
 - ・再起動後の更新は上記①を実施してください。(「状態表示」をクリックします)
- ④ バージョンアップに使用したWEBブラウザを終了します。
 - ・作業用PCをネットワークから取り外します。
 - ・バージョンアップ用データ(ファイル)は、作業用PCから削除して構いません。

7. 動作を確認します

- ① 電話の発着信、装置の自動応答等が正常に動作していることを確認します。

以上でファームウェアのバージョンアップは終了です。